

新上五島の芋焼酎
「五島灘」が初出荷
規制緩和で新規参入
で規制参入した「五島灘酒造」（新上五島町、田本喜美代社長）の本格芋焼酎「五島灘」の初出荷式が一日、同町有川郷の同社工場であり、出席者らは特産品として香りはさわやか。一口当たりが優しく、さっぱりとして香りはさわやか。一口ぶ「五島灘」の特長は、主に長崎県酒販（長崎市）を通じて酒店などで扱つてもらう。残りは熟成させてから販売する。

式で田本社長は「苦勞はあつたが、初出荷を迎へられた。愛されるいい焼酎を造つていきたい」とあいさつ。郷土芸能「弁財天（メイテン）」の披露などがあつた後、出席者は六百本を積んだトラックを見送った。予約していた町民も訪れ、初物を早速手にして問い合わせは五島灘酒造。

2. 電0959・42・000



関係者「五島灘」の初出荷を祝う

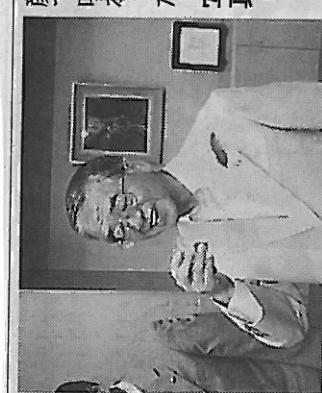
田本喜美代社長（新上五島町）の田本喜美代社長らが九日、今月販売始めた本格芋焼酎「五島灘」を金子知事に贈呈。知事は満面の笑顔で味わつた（写真）。

元の芋で造つた」と言う弁

○…「あまり焼酎は飲まない」という知事が、「地

上町長らのすすめで試飲。一口当たりが優しく、さわやかな香りに「飲みやすい。ロツクでいい」と絶賛した。

本はほぼ完売。知事は「お祝いに十本くらい買おうと思っていたのに」と残念そう。



新規参入した
「五島灘酒造」

（新上五島町）